

平成 2 4 年 1 2 月 1 0 日
1 0 4 会 議 室

平成 2 4 年第 2 3 回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成24年第23回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成24年12月10日(月)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時16分

2 場 所 104会議室

3 出席委員 福 田 一 平 田 中 健 一
古 岡 邦 人 平 山 いづみ
小 町 邦 彦

署名委員 平 山 いづみ

4 説明のため出席した者の職氏名

教育長	小町 邦彦	教育総務課長	小林 健司
学務課長	小林美佐子	指導課長	並木 浩子
生涯学習推進センター長	早川 律康		

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 高木 健一 大澤 善昭

案 件

1 報告

- (1) 西砂小学校増築について
- (2) 第一小学校建替工事実施設計について
- (3) 小学校の通学路に関する緊急合同点検の結果について
- (4) 平成24年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
(東京都統一体力テスト)」結果について
- (5) 学習等供用施設「こんぴら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び
休館について

2 その他

平成24年第23回立川市教育委員会定例会議事日程

平成24年12月10日

104 会議室

1 報告

- (1) 西砂小学校増築について
- (2) 第一小学校建替工事実施設計について
- (3) 小学校の通学路に関する緊急合同点検の結果について
- (4) 平成24年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
(東京都統一体力テスト)」結果について
- (5) 学習等供用施設「こんぴら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び
休館について

2 その他

◎開会の辞

- 福田委員長 ただいまから、平成24年第23回立川市教育委員会定例会を開会いたします。
はじめに署名委員の指名を行います。署名委員に平山委員、お願いいたします。よろしい
でしょうか。
- 平山委員 はい。
- 福田委員長 次に議事内容の確認を行います。今回、報告5件でございます。議案及び協議
案件はございません。その他は、議事進行過程で確認をいたします。
次に出席者の確認を行います。小林教育総務課長、お願いします。
- 小林教育総務課長 本日の事務局の出席でございますが、学務課長、指導課長、生涯学習推
進センター長、それから私、小林教育総務課長でございます。なお教育部長につきましては、
所用のため、本日欠席させていただいております。よろしくお願いいたします。

◎報 告

(1) 西砂小学校増築について

- 福田委員長 それでは報告に入ります。
報告(1)西砂小学校増築について、の報告でございます。
資料は特にございませぬ。口頭での説明でございます。
小林教育総務課長、ご説明をお願いいたします。
- 小林教育総務課長 西砂小学校増築工事について、ご説明申し上げます。
西武立川駅南口開発事業に伴い、児童の増加が見込まれる西砂小学校の増築工事を行うこ
とにいたしましたので、ご報告いたします。
推計では、開発に伴い入居が始まる平成24年度末から平成27年度にかけて、最大で
200人以上の児童が増加することが見込まれています。一方、西砂小学校は現在17クラスで、
普通教室に転用可能な2教室を合わせても最大で19クラスですので、推計より増加しました
場合、現状での対応は困難になるため、新たに4教室を増築することにいたしました。
増築は小学校の敷地の東側を利用しまして、平成22年度に2教室を増築した第五小学校と
同様、軽量鉄骨といたします。
工事スケジュールでございますが、地盤調査と実施設計作業を来年8月までに行いまして、
来年9月から建築工事に着手し、平成26年4月には供用を開始したいと考えております。
なお、第七中学校につきましては5教室を普通教室に転用することが可能でございますの
で、新たな増築は考えてございませぬ。
報告は以上でございます。
- 福田委員長 ありがとうございます。西砂小学校増築についての説明を終了いたします。
これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質問、ご意見等お願いいたします。

田中委員、お願いします。

○田中委員 ただいま小林教育総務課長から西砂小学校の増築について説明があったわけですが、今後見込まれる数としては200人以上、これは児童の数ですか。

○小林教育総務課長 現在の小学生、それから小学校の未就学児、こういったものを全部25年度から27年度で、すべてが重なるわけではありませんが、可能性としては重なる可能性がございますので、重なった場合には200人以上の児童が一斉に西砂小に通うことになると、こういう推計でございます。

○田中委員 ありがとうございます。ご承知のように平成24年4月7日現在で児童数が568名、17学級、10月1日現在で571名、現在3名ほど増加でありますけれども、今、小林教育総務課長から説明がありましたことを勘案した場合、今後の西砂小学校区域の教育人口推計がかなり増えてくると、そういうことが十分予想されるわけですから、今回の早期の増築の対応が適切であると思いますので、よろしくお願いします。

なお、お願いしたいこととしては、増築工事にあたっては教育課程に支障のないように、また増築工事にあたっての作業の出入りが結構頻繁になると思いますので、安全確保に十分注意をしていただくようお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

○福田委員長 ほか、ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 工期は、平成25年9月1日からということですね。

○小林教育総務課長 はっきりした工期は今の段階では申し上げられませんが、およそ来年の夏休み以降、9月1日以降になります。

○福田委員長 概ね平成26年4月までですか。

○小林教育総務課長 工事期間は半年ぐらいです。

○福田委員長 工期は半年ということでございます。

私からお願いですが、途中での改修、増改築工事というのは、先ほど田中委員からもあったように、学校教育上、教育課程に支障が生じる場合があるわけです。特に物理的に教育環境に制限があるわけです。ここからここは使ってはいけません、というような制限がある中で、特に教育課程に支障のないように、それと安全ということに対する十分な注意をお願いしたいと思います。

◎報 告

(2) 第一小学校建替工事実施設計について

○福田委員長 次に報告(2)第一小学校建替工事実施設計について、の報告でございます。

お手元の資料、立川市立第一小学校建替事業設計概要をご参照願います。

小林教育総務課長、説明をお願いいたします。

○小林教育総務課長 それでは、第一小学校の建替事業についてご報告申し上げます。

第一小学校の建替工事につきましては、今年の9月には実施設計が完成いたしましたので、

お手元に設計概要を配付させていただきました。

今回の建替事業の特徴といたしましては、学校、保護者、地域住民、学習館利用者などのご意見、ご要望をお聞きした上で策定を進めたいいわゆる市民参加型の建築であること。学校と学習館、地区図書館、学童、保育所などの複合施設であること。従来型の教室配置ではなく、オープンスタイルの教室配置としていること。太陽光発電や雨水利用、自然採光など環境配慮型の施設であることなどでございます。詳細は資料をご覧ください。

事業の進捗状況でございますが、この実施設計を行いまして現在、契約に向けて手続きを進めており、建築、光熱設備、空調設備、給排水衛生設備などの主要な工事につきましては、本年末までに契約を行う予定でございます。

その後、来月早々には工事に着手いたしまして、平成26年7月の竣工を目指しまして、安全かつ円滑に工事を進めてまいりたいと考えてございます。

報告は以上です。

○**福田委員長** ありがとうございます。第一小学校建替工事実施設計についての説明を終了いたします。

これより質疑に移ります。資料及び報告内容を踏まえ、ご質問、ご意見等お願いします。

はい、田中委員。

○**田中委員** ただいま小林教育総務課長から説明がありまして、資料も拝見させていただきましたが、本当に真摯に、また綿密に進めていらっしゃるなということを感じました。特に進捗状況についても今のところ順調であると伺っております。平成26年度に竣工するそうですが、これまで近隣への防音を含めた安全問題については、特に今のところは教育委員会に苦情はきていませんか。

○**小林教育総務課長** 近隣からの苦情ということですか。

○**田中委員** はい。騒音等含めたものです。

○**小林教育総務課長** 解体工事が今年の10月以降開始いたしましたけれども、解体工事に伴う苦情というのが9件ほどきてございまして、いずれも今お話しされたように騒音の件が多いということで、当然、私どもと行政管理部施設課と連携して対応しまして、お話をいたしまして、ご納得いただいているところです。今後、実際の工事に関しましては、騒音等については当然予想されますので、なるべく地域の皆さんにご迷惑をかけないような形で、説明をていねいに、そして苦情があった場合につきましては、すぐにご説明にまいりたいと考えています。

○**田中委員** 説明を聞いて安心いたしました。是非、平成26年7月竣工に向けて、無事故で、また関係機関の工事の皆さんには心からお礼申し上げたいと思いますので、今後とも引き続きよろしくをお願いします。

○**福田委員長** ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** 地域の皆様のご理解とご協力がないと円滑な進行ができないと思いますので、

ていねいな説明等をお願いいたします。

◎報 告

(3) 小学校の通学路に関する緊急合同点検の結果について

○福田委員長 次に報告(3) 小学校の通学路に関する緊急合同点検の結果について、の報告でございます。

お手元の資料、通学路の緊急合同点検結果をご参照願います。

小林学務課長、説明をお願いいたします。

○小林学務課長 では、ご説明いたします。

平成24年4月以降、登校中の児童等の列に自動車が入り込み、死傷者が出るという痛ましい事故が相次いだことによりまして、文部科学省、国土交通省及び警察庁の3省庁が連携し、全国で通学路における緊急合同点検が実施されました。

市でも学校、保護者、立川警察署、東京都北多摩北部建設事務所、市道路課、交通対策課、学務課で7月24日から8月23日までの期間で、小学校20校の通学路の合同点検を行いましたので、その結果につきましてご報告いたします。

本日配付いたしました資料をご覧ください。

点検した危険箇所は78カ所ございました。状況の把握としましては、道が狭い33件、見通しが悪い14件、交通量が多い41件、スピード・飛び出し等がある39件、その他21件でございます。

対策につきましては現在各機関で順次検討し進めておりますが、学校による対策は、通学路の変更2件、PTAや地域の方による立ち番42件、その他としまして児童への安全指導の徹底など56件。市と東京都の道路管理者による対策は、区画線34件、標識等13件、その他としまして道路反射鏡調整など12件となっております。立川警察署の対策は、標識2件、横断歩道等8件、信号機1件となっております。

報告は以上でございます。

○福田委員長 通学路の緊急合同点検結果の数値が出ておりますけれども、この結果について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 ただいま小林学務課長から、小学校の通学路に関して緊急合同点検結果について説明がありました。先ほどもおっしゃったように、本年4月23日に京都府で、27日には滋賀県で、登校中の児童の列に車が突っ込んで、死傷者が出る痛ましい事故でありました。それによって今回、このような点検をお願いしたということで、非常に大事なことであると思っております。改めてお礼申し上げたいと思えます。

ただ、この中で幾つかお尋ねしたいのですが、児童の通学路の安全確保のためにも、まずは危険となる箇所、小学校が20校今回対象だったわけですけれども、前回の6月の調査ですと危険数が112カ所でしたが、今回、点検箇所が78カ所ということになっているのはど

うしてなのかということが1点。

あと、6月の報告の中では、通学路の点検頻度が月1回、学期に1回あるいは年に1、2回と結構学校によってばらつきがあるんですね。これについては通学路上や通学区域の実情の関係と受け取っていいのかどうか、それについてお聞きしたいと思います。あわせて、もし、本来ならばということで、このようなばらつきが各学校ありますが、この改善のために学務課としては通学路の点検頻度について基本的な方針を検討したらどうかと思います。

最後になりますけれども、この中でその他というのが小学校52件出ていますね。これは坂道になっているとか、あるいは信号無視をするとか、こういうことが原因なのでしょうか。

最後に、今後とも緊急合同点検の結果に基づき、立川警察署、庁内関係部署、学校、地域、保護者と連携して、登校中、下校中の児童の安全安心確保のためにさらに計画的、定期的に通学路の点検と検討を進めていただくようお願い申し上げます。

私からは以上です。

○**福田委員長** ご質問が4件、ご要望が1件と思いますけれども、まず1件目、6月の報告の際は112カ所点検箇所があったにも関わらず、今回78カ所と減っているのは、これは何かございますか。

○**小林学務課長** 112カ所は学校から出していただいたんですが、その後さらに調査をかけまして、学校で合同点検をすべきであるという点検箇所を出していただきましたところ、78カ所ということになりました。

ただ、その78カ所、最初出していただきました112カ所は五日市街道でもここ、ここ、ここという感じで一つ一つだった学校が、五日市街道全体が同じように危ないという形を出していただきましたし、実際には合同点検のときにうかがって、通学路を順次危険箇所を歩いていく中で、ほかの通学路も見えておりますので、78カ所ということではございますが、さらに点検箇所としては増えていると思っております。これは学校へ2回目の調査をかけた結果でございます。

○**福田委員長** 田中委員、よろしいですか。

○**田中委員** はい。

○**福田委員長** 次に6月の報告の際、点検の頻度が学校によりばらつきがあるのではないかとということでございますが、これは通学区域と言いますか通学路の実情と関係があるのですか。学校によって通学路の、通学区域の条件、環境が違うと思えますけれども、それとも何か関係ありますか。

○**小林学務課長** 本当に正しいという部分は、すいません私も掴んではないところですけど、点検する必要があるという回数とかが学校によって、地域によって違うのではないかなと思えます。実際問題、私も緊急合同点検、一緒に参加させていただきましたが、かなり環境が変わったり、本当に危険な箇所、何と言ったらいいんでしょう、ハードの部分がきちんと整備されているんです。されているけれど、子どもたちがルールを守らない、そういう場所もございまして、場所によってそういう点検の回数、必要性というのは若干違うのでは

ないかなということを感じました。

○福田委員長 田中委員、いかがですか。

○田中委員 分かりました。

○福田委員長 この学校間のばらつきの改善、学務課としては点検についての頻度等についての基本方針をお出しになるのかどうか、このようなこともありますが、いかがですか。

○小林学務課長 ただいま点検回数という意味で特に考えてはおりませんが、通学路の安全、全体的な形で今後どのようにして進めていったらいいのかということは検討してまいりたいと考えております。その中で今申し上げた改善につきましても検討の課題には挙げたいと思っております。

○福田委員長 田中委員、いかがですか。

○田中委員 ありがとうございます。

○福田委員長 あと、要望が出ていますけれども、要望等に関して、やはり登下校中の児童の安全の確保というのが、これが一番大事だと思いますので、様々な関係部署、警察やそして教育委員会事務局だけではなく市の関係部署とも連携をとりながら、さらにきめ細かな通学路の点検の検討といいますか推進をお願いしたいところだと思いますけれども、当市の場合は通学路の点検についての要綱というかそういう基準は設けていますか。

こういう目的でこのような内容を点検をして、直ちに、喫緊に改善をしなければいけないものはこのように改善をしていくんだとか、例えば道路の幅が狭いとか見通しが悪い、なかなかそうはいかないと思いますけれども中長期的な展望のもとに、都道であれば東京都の道路関係部署との折衝を図りながらとか、そういうふうなものはありますか。

○小林学務課長 現在はそのような要綱等はございません。道路管理者は道路管理者、警察は警察でそれぞれその基準があるとは思いますが、今後は教育委員会事務局といたしましては、警察とか道路管理者と連携をとりながら、何らかの形で庁内とか警察とか、東京都の関係機関と連絡をとるための要綱等の整備はしていきたいと考えております。

○福田委員長 田中委員。

○田中委員 どうもありがとうございました。学務課が一生懸命取り組んでいる熱意が伝わってまいります。

ただ一つだけ、先ほども質問事項で申し上げたのですが、通学路上でのその他ですが、小学校が52件、中学校が11件、合計63件あるわけですが、このその他の数は坂道になっているとか、あるいは信号無視をする人が多いとか、様々な条件があるんだろうと思いますが、そのあたりを詳しく教えていただけますか。

○福田委員長 小林学務課長。

○小林学務課長 危険箇所の中でその他というところですけど、今、委員がおっしゃいましたように、今回の危険箇所の点検では、例えば縁石がでこぼこしているとか、信号の時間が短すぎて渡りきれないとか、車の進入が多いとか、コンビニへの出入りの車が多いとか、そういうのが現実的に合同点検をしてはっきりしたところでございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。安全に関わる、命の教育に関わることでございますので、学校だけでなく、家庭、地域の様々な方々との、特にシルバー人材センターの会員の方も毎日のように立っていらっしゃると思いますので、連携、協力の下に安全な通学路の点検を含めて対応をお願いしたと思います。

◎報 告

(4) 平成24年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
(東京都統一体力テスト)」結果について

○**福田委員長** 次に報告(4)平成24年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査(東京都統一体力テスト)」結果について、の報告でございます。

以後、東京都統一体力テストと申し上げます。

報告の資料、平成24年度東京都統一体力テスト男女別・学年別 立川市平均値をご参照願います。

並木指導課長、説明をお願いいたします。

○**並木指導課長** それでは平成24年度東京都統一体力テストの結果について、ご報告をいたします。

この調査は、昨年度から都内全公立学校の全児童・生徒を対象に実施をしているもので、今回が2回目の実施となっております。実施時期は平成24年4月から6月にかけて市内各学校において実施をいたしました。

過半数の学年で東京都平均値以上の結果が出たものにつきましては、小学校男子では握力、長座体前屈、50m走及び立ち幅跳びの4項目、小学校女子では握力、長座体前屈、50m走及び立ち幅跳びの4項目で、その傾向は昨年度のものと同様でございます。

また中学校男子については、握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び及びボール投げの5項目、中学校女子では、握力、長座体前屈、持久走、50m走、立ち幅跳び及びボール投げの5項目が東京都平均値以上の結果となりました。特に中学校女子の記録の伸びが見られたところでございます。

昨年度は男女とも全学年において東京都の平均値を下回った11項目、合計数値については今年度は小学校男子の第4学年、5学年、中学校男子全学年及び中学校女子第1学年、第2学年が東京都の平均値以上となったところでございます。

児童・生徒の体力向上は児童・生徒の運動習慣、生活習慣とも関わりが深いため、教員の授業力向上のほか、学校と家庭、中学校と小学校の連携を重視し、児童・生徒の体力及び運動能力の一層の向上を目指した取組を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質問、ご意見等お願いいたします。はい、田中委員。

○**田中委員** 今、並木指導課長から説明があつて、本当によく頑張った、そんな感想を持って

おります。

平成 24 年度東京都統一体力テストの結果を拝見しながら、特に最高学年、小学校であれば 6 年生、中学校であれば 3 年生を見ても、それぞれ成果を実感します。特に小学 6 年生の男女、中学 3 年生の男女の体力テストの合計点、これを見ますと東京都の平均とほぼ同点数です。また中学 3 年生の男子の合計点が東京都の平均を 1.0 ポイント上回っておりますし、特に種目においては握力が 1.3 ポイント、立ち幅跳びが 3.7 ポイント東京都の平均を上回っており、着実に学校の取組、それが大きな功を奏していると思います。

また平成 23 年度と平成 24 年度、立川市の合計と比較してみました。その中で小学 6 年生の男子が 0.85 ポイント下がってはいるものの、全体としては小学 6 年生の女子、中学 3 年生の男女とも昨年を上回っている、先ほど指導課長からも説明があったとおりです。特に中学 3 年生の男子は、昨年と比較しても合計点が平成 24 年度と比較しまして 2.39 ポイントも上回っています。これについては指導課を中心とした体力指導の施策を受けて、各学校が体力向上に取り組まれた結果だと心から感謝しております。

そこで是非、今後とも進めていただきたいということで 2 点ほどお願いいたします。

1 つは、現行の学習指導要領が小学校は 23 年度 4 月から完全実施され、また中学校が 24 年の 4 月から完全実施されたのですが、それを受けてお願いしたいことです。1 つは、子どもの体力低下あるいは運動習慣の低下、この傾向が指摘されているわけですが、体力づくりを低学年から今回は規定されましたので、是非体力づくりの充実、これをなお一層進めていただきたいと思います。

2 点目ですけれども、健康な生活を送る資質である能力の基礎を培う、そういう観点から中学校の指導内容につながる系統性のある指導ができるよう、とりわけ小学校の教育課程の改善工夫、それについても指導をよろしくお願いいたします。先ほども指導課長から小中の連携をしながら体力向上を目指すというお話がありましたので、是非そういう方向で進めていただければと思っています。

あと、最後になりますけれども、学校体育だけでは不十分ですので、家庭あるいは地域との連携をしながら、是非、教育委員会の指導課として施策を具体的に講じて、なお一層本市の児童・生徒の身体能力あるいは体力向上を図るようお願いしたいと思います。

私からは以上です。

○**福田委員長** ありがとうございます。ご要望がございましたけれども、小中連携を踏まえて、学校だけではなくて、家庭や地域との連携をもとに、さらに推進をしていただきたいということでございます。

ほか、ございますか。平山委員、いかがですか。

○**平山委員** 今回のこの体力測定に関しまして、保護者のほうもいろいろな形で参加をさせていただくケースが結構あると思いますが、その中で見てみますと、反復横とびであるとかシャトルランなどの、中学年以下の児童は比較的きちんとできていないというか、そういう面すごくもったいないなというところが非常に多く見受けられましたので、その辺は指導をも

っとすれば違った値が出てくるのではないかと感じました。

○福田委員長 古岡委員、いかがですか。

○古岡委員 医師会でも連携を重視していただいて、是非協力してやっていただきたいと思います。

○福田委員長 私から、当市の児童・生徒のさらに伸ばしてほしい良い面と、改善をしなければいけない課題だけ、私が検証した私なりの考えを述べておきます。

体力の定義というのはいろいろ捉えられていますけれど、私は、体力というのは、人間として生存する、そして人間らしく生活するための基礎的な能力であると考えています。

特に中学校のときは発育発達が顕著な時期でございます。特に男子はそうだと思いますけれども、調査の結果の平均値から見ると、本市の男子の児童・生徒の体位、身長、体重、座高、これは概ね東京都の平均値にあります。一方、体力・運動能力については、先ほど田中委員はじめ課長が指摘したように握力や長座体前屈、50m走と立ち幅跳び、これは東京都よりも高い数値が出ています。すなわち、本市の男子の児童・生徒は筋力、瞬発力にすぐれていて柔軟性に富んでいるということが言えます。このことは行動体力、行動を起こす体力は高く、特に中学校は3学年とも顕著に出ていますね。

一方、反復横とびが都の平均値より下回っているのは、これは課題ですけれど、敏捷性に課題があって運動を正確に行う力が不足しているということです。しかしながら中学校男子は小学校男子に比べて持久力が高い。だから運動を長時間にわたり続ける力が高いということは、特に心肺、すなわち循環機能が向上しているということです。この要因というのは、保健体育の授業が充実していることと同時に、中学校での部活動の影響が大きいと私は捉えています。

一方、女子の体力についても男子同様、概ね東京都平均並みです。握力や50m走、立ち幅跳び、こういうものは都の平均よりも高い平均値が出ています。このことは男子同様に筋力、瞬発力にすぐれているし、運動を起こす力が高く、しかしながら上体起こしとか反復横跳び、持久力に課題が残っています。このことは女子は敏捷性と柔軟性に欠けていると言え、運動を正しく正確に行う力が若干不足していると思います。小学校の女子はボール投げに課題がありますね。女子は全般的に敏捷性と持久力に課題を残し、運動を長時間正確に行う力が若干不足している。加えて、小学校女子は投げる力、一定量のを投げる力が少し劣っているということです。

全体的にみて、中学校男子の体力・運動能力ともに正常な発育発達をしていると思います。本市の児童・生徒の特色は、走力、筋力、瞬発力にすぐれていますが、柔軟性及び敏捷性、すなわち運動を正確に行う力に課題があります。要するにこれらを改善して、健全なそして健康な発達を図るためには、私は、小学校から男女ともに発達段階に応じた持久力をつけること。そして心肺能力を高めていく、そのようなプログラムを学校生活に組み込んで、計画的に実践をしていくことが肝要であると思います。

やはり子どもの体力低下の直接的な原因の一つは、運動経験の不足なんだと思います。子

どもの体力低下に歯止めをかけて、体力の向上を図るには、発達段階に応じた適切な運動経験を与えること。そのためにも学校、家庭、地域が連携したスポーツ活動の展開、そして中長期的な展望のもとに施策改善を講じていただければありがたいと思います。

立川市は、何と言っても誇れるのは12自治連支部の中にすべて、皆さんご案内のように体育会があって、地域、家庭の中で連携をもった運動を推進しているということがありますので、是非連携を密にした中での推進をお願いできればと思います。

私は以上でございます。

○田中委員 一言付け加えさせていただきますけれど、今、委員長から具体的な本市の児童・生徒の実態あるいは今後の課題についてお話があったわけですが、是非この機会にもう一回、指導課を中心に見直しをしていただいて、具体的なアクションプラン、そういうものを立ててはどうかと思います。先ほど委員長から中長期的にと説明がありましたように、より具体的に、2年、3年あるいは5ヵ年計画のアクションプランを立てながら、何をどう伸ばしていくか、その辺りを指導課として検討し、そして各学校にそれを具体的に説明し、全体の体力向上、身体能力向上に努めていただきたい、そう思いますので、よろしく願いいたします。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

◎報 告

(5) 学習等供用施設「こんぴら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び休館について

○福田委員長 次に報告(5)学習等供用施設「こんぴら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び休館について、の報告でございます。

資料は特にございませぬ。口頭での説明でございます。

早川生涯学習推進センター長、お願いいたします。

○早川生涯学習推進センター長 それでは、学習等供用施設「こんぴら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び休館について、ご説明申し上げます。

それぞれの工事期間は平成25年1月上旬から3月末までとしております。この工事に伴い、会館の臨時休館も行います。休館の期間は、こんぴら橋会館は平成25年1月7日月曜日から3月31日日曜日まで。天王橋会館は1月4日金曜日から3月31日日曜日までとなっております。

会館が休館中の受付業務は、こんぴら橋会館は砂川学習館敷地内プレハブで行い、天王橋会館の受付業務は、一番組自治会公会堂で行うこととしております。

なお、市民への周知につきましては、既に11月25日号の市広報、市ホームページのほか、会館だよりの発行、会館からの利用者への事前周知チラシの配布、会館施設へのお知らせ掲示などを行ってまいります。

報告は以上であります。

○福田委員長 ありがとうございます。学習等供用施設「こんびら橋会館及び天王橋会館」の空調機改修工事及び休館についての説明を終了いたします。

これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご意見、ご質問等お願い申し上げます。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 よろしく申し上げます。

以上で報告事項は終わります。

◎その他

○福田委員長 その他に移ります。その他ございますか。

小林学務課長、お願いします。

○小林学務課長 南砂小学校での感染性胃腸炎によります学年閉鎖につきまして、ご報告をさせていただきます。

既に委員の皆様にはお知らせしておりますが、感染拡大防止のため、11月28日水曜日から30日金曜日の3日間、第1学年を学年閉鎖といたしました。また12月3日月曜日、4日火曜日の2日間、第3学年を学年閉鎖といたしました。

学務課では、28日には全小中学校に予防などの注意喚起のメールを送るとともに、12月の校長会及び副校長会でさらなる注意を呼びかけております。

本日の南砂小学校の状況でございますが、第2学年1名、第3学年2名、第5学年1名、第6学年1名、計5名の児童が嘔吐、下痢などの症状で欠席しております。

学校では引き続き感染予防に努めており、学年閉鎖後におきましては感染の拡大は特に見られておりませんが、東京都福祉保健局からは、都内における感染性胃腸炎の患者報告数が流行警報基準を超え、同時期の報告数としては平成11年の調査開始以降最高となっていることですので、今後も十分注意をしております。

報告は以上でございます。

○福田委員長 ありがとうございます。皆さんのお手元に12月3日付の教育長名での通知でございます。南砂小学校での感染性胃腸炎による学年閉鎖についての文書でございます。説明がございましたけれど、何かご質問、ご要望ございますか。

はい、古岡委員。

○古岡委員 感染性胃腸炎は、ご存知のように激しい嘔吐と下痢によって体力が衰弱しますけれど、我々医療機関に来られるお子さんは、幼児などは医療費が無料なのですぐ受診してくれるんですけど、母子家庭はお母さんが我慢してしまうという傾向があるらしいですね。その間に子どもに感染して広がってしまうという、問題になっておまして、嘔吐したものや下痢したものを処理した後に、しっかり手を洗わないで口に入ったりして感染してしまう。予防をしっかり行ってほしいと思います。

○福田委員長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。平山委員いかがですか。いいですか。

○平山委員 はい。

○福田委員長 現在は小康状態といえますか改善されているわけですか。

○小林学務課長 ほぼ終息に向かっていると考えております。

○福田委員長 これからまだ、たぶんインフルエンザも出てくると思いますし、中学校の場合はその時期にまた入学選抜もございますので、十分な対応をお願い申し上げます。

◎その他

○福田委員長 その他ございますか。

○小町教育長 2件ございまして、1件が学校訪問です。予定を調整させていただければと思っていますので、回数等につきましては当初10回程度ということでございますけれども、現実論として日程調整ということになりますので、その具体的な日程の、数に関しましては再度調整させていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

また、議会が2月14日から3月15日ということで、例年になく早めということで、そんな議会日程も視野に入れながら、委員の皆様の日程を頂戴しながら、別途、日程調整をしてみたいと考えています。それが1点でございます。

もう1点は、今月の25日に子ども未来センターがオープンということでございますので、建築業者から正式に引き渡しを受けまして、担当課でございます地域文化課も向こうの具体的な施設に入って、受入体制をとったという情報が入ってまいりましたので、オープン前に、もし皆様のご都合がよければ、視察の日程を組ませていただければと思っています。

その2点でございます。

○福田委員長 ありがとうございます。まず1点目は、今年度の学校訪問の日程調整の件でございますけれども、3月議会が早まる関係上、1月、2月あたりのどのあたりになるかは事務局と調整をしたいと思います。委員の皆さんもご予定もあろうと思いますけれども、ご協力をお願いいたします。

2点目は、今月25日に、ご案内のように子ども未来センターがオープンされます。その前に、私たちが視察をしたいけれどもということでございます。これもまた日程調整を事務局と図ってまいりたいと思います。

ご質問等ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 よろしく願いします。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○福田委員長 それでは、最後に次回の日程確認を行います。次回、本年最後でございますけれども、平成24年第24回立川市教育委員会定例会を平成24年12月25日火曜日、午後1

時 30 分より、210 会議室にて開催いたします。

以上で平成 24 年第 23 回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 2 時 16 分

署名委員

.....

委員長